

柱状採水プランクトン調査速報 第1号

有害・有毒プランクトンの監視を強化します！

調査日：6月16日(月)

○調査目的

- ・ 湖北部における有害・有毒プランクトンの早期察知

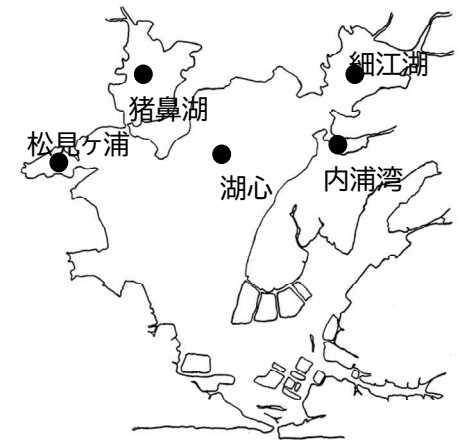
○調査方法の特徴

- ・ 特殊な採水器具を用いて、表層から底層まで一度に採水(柱状採水)することにより、有害・有毒プランクトンの有無をより詳細に調査することができます。
- ・ さらに、採水した海水を濃縮することによって、これまでの50倍の感度でプランクトンを確認することができます。

○調査時期

- ・ 夏期を中心に複数回実施します。

提供日：令和7年6月17日(火)
静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場
(TEL 053-592-0139)



新たな採水方法による今回の調査結果

採水地点	湖心	内浦湾	細江湖	猪鼻湖	松見ヶ浦
採水時間	10:55	11:10	11:20	11:35	11:45
採水水深	表層～10m	表層～5.9m	表層～7.0m	表層～6.1m	表層～6.1m
有害・有毒プランクトン (1mLあたり)	ディノフィシス属 0.2細胞	ディノフィシス属 0.6細胞	ディノフィシス属 0.2細胞	ディノフィシス属 1.2細胞	ディノフィシス属 2.8細胞
担当コメント	下痢性貝毒の原因プランクトン(ディノフィシス属)がわずかに確認されました。 <u>現在のところ問題のある密度ではありませんが、今後の動向に注意していきます。</u>				